



▲綱を引きあう参加者たち

白熱した雪上3本綱引き 第6回あおば冬祭り

1/25

1月25日、あおば元気な会による『第6回あおば冬祭り』が青葉小学校で開催され、児童とその保護者約200人が参加しました。この祭りのメインイベントである『雪上3本綱引き』は、3本の綱をチームで引き合い、そのうち2本の綱を取ったチームが勝つウィンタースポーツ。参加者たちは、雪上で懸命に綱を引き合い、優勝を目指して白熱した試合を繰り広げていました。また、雪の中に埋められたお菓子などを探す『雪中宝探し』や、ココア・焼き芋の振る舞いが行われ、参加者は雪遊びで冷えた体を暖めていました。

給食でアイヌの伝統料理を アイヌ料理を提供

1/26

1月26日、学校給食センターは、現代風にアレンジしたアイヌ料理を学校給食で提供しました。

学校給食を通じてアイヌ文化に興味・関心を持ってもらうため、今年度からアイヌ料理の提供を開始。今回は2回目の提供となり、1回目の提供では鮭を使用した汁物であるチエプオハウを、今回は肉を使用した汁物であるカムオハウを提供しました。この日訪れた幌別小学校の児童たちは、普段食べる機会の少ないアイヌの伝統料理を、興味津々で食べ進めていました。



▲カムオハウを食べる児童

厳寒の湯かけ合戦 勝敗の行方は

2/3・4

第53回登別温泉湯まつり

2月3日・4日の2日間、登別温泉で『第53回登別温泉湯まつり』（登別国際観光コンベンション協会・市主催）を開催しました。『登別温泉湯まつり』は、登別温泉の豊富な湯量と高温多質の湯が尽きることに無きよう、温泉の効能に感謝し、開運と無病息災を祈願する祭りです。祭りでは、閻魔大王の使者である『湯鬼神』が、ホテルや旅館の厄払いを行ったほか、祭りを締めくくる4日の夜には、登別温泉の泉源公園で、伝統芸能『子宝もちつき舞』が披露され、来場した皆さんにお汁粉が振る舞われました。その後、下帯姿の男たちによる一大イベント『源泉湯かけ合戦』が行われ、寒空の下、互いが湯を盛大にかけ合い、勇壮な騎馬戦を繰り広げました。騎馬戦は、紅組が勝つと登別温泉の湯の温度が上がり、白組が勝つと湯量が増えることされ、今年は激闘の末に白組が勝利となったため、湯量増加が期待されています。



▲太鼓と笛の音に合わせて餅をつく『子宝餅つき舞』



▲騎馬戦で鉢巻きを取り合った『源泉湯かけ合戦』